

# 銀河レポート401

No. 51  
8月号

発行日：令和元年8月1日  
編集&発行：四日市市立博物館  
プラネタリアム  
電話：059-355-2700  
HP：<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum.html>

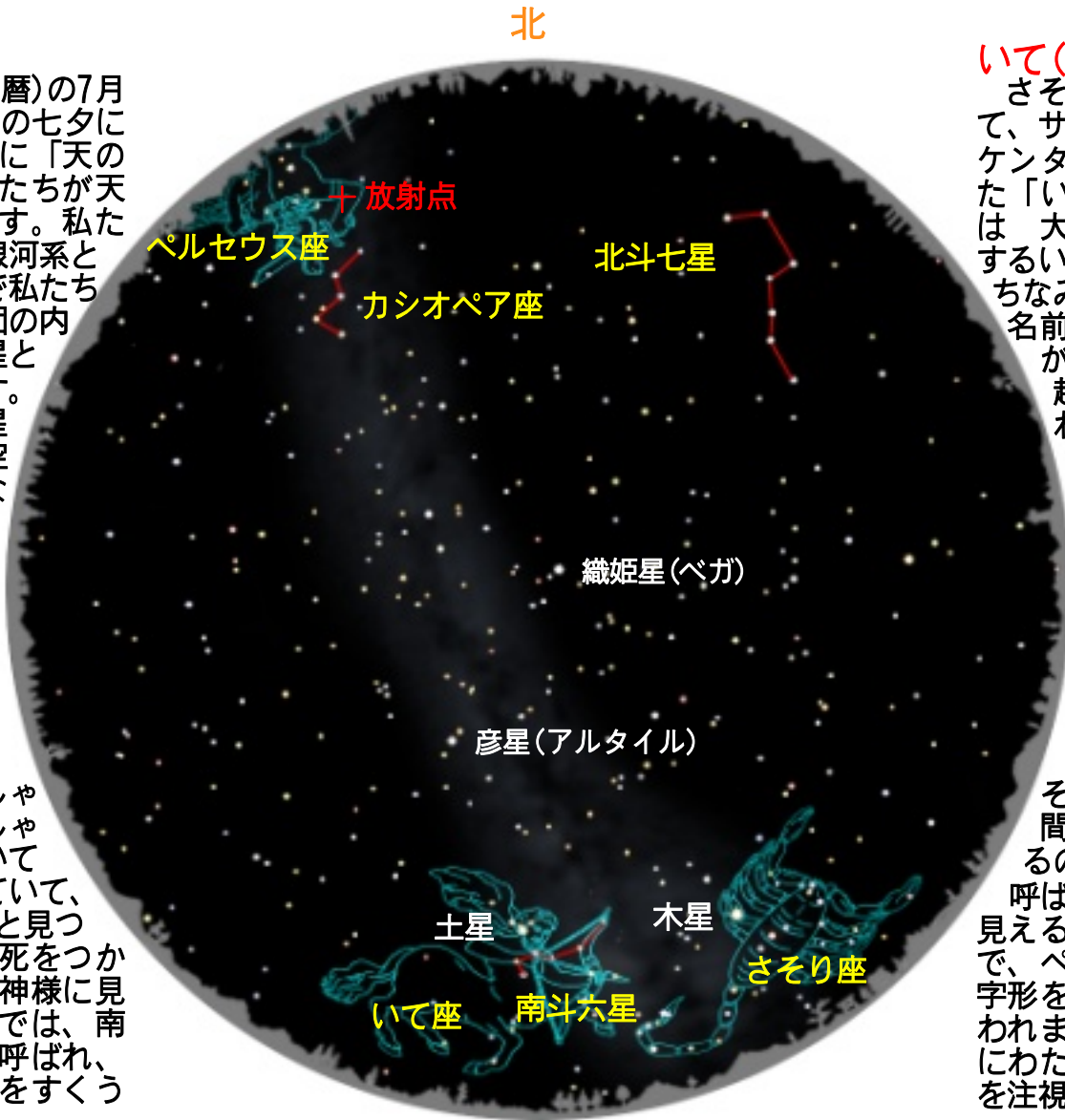
## 8月の星空

### 七夕

七夕と言えば、本来は旧暦(太陰暦)の7月7日のことで、今年は8月7日が旧暦の七夕に相当します。この時期には、まさに「天の川」の名のとおり無数の帯状の星たちが天を二分するように南北に広がります。私たちがふだん目にする夜空の星々は銀河系と呼ばれる約2000億個の恒星の集団で私たちの太陽系もその一員です。その集団の内側から銀河系の星々を見て、星と星とを線で結び描いた絵が星座なのです。特に銀河系の中心方向には多くの星が集まっており、その星たちが夜空の南北に帯状に見える時期が七夕なのです。宇宙には「銀河」と呼ばれる星の集団が何千億個もあると考えられていて、私たちの銀河系はその中のひとつで「天の川銀河」とも呼ばれます。

### 南斗六星(なんとろくせい)

夏の夜空には大小二つのひしゃくが見られます。北の空の大きなひしゃくの北斗七星と南の空の小さなひしゃくの南斗六星です。南斗六星は、いて座の中の六つの星から形づくられていて、今年の8月は土星のすぐ下方を探すと見つかります。中国では、北斗七星が死をつかさどる神様、南斗六星は長生きの神様に見立てられていました。また、西洋では、南斗六星は「ミルクディッパー」と呼ばれ、ミルクウェイ(天の川)のミルクをすくうスプーンに例えられています。



8月15日21時の星図

南

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

### いて(射手)座とブラックホール

さそり座のサソリの後方から弓を引いて、サソリの見張り役をしている射手は、ケンタウルス族という半人半馬の姿をした「いて座」のケイロンです。ケイロンは大変頭がよく、ギリシャ神話に登場するいろいろな人の師でもありました。ちなみに当館プラネタリアムの投映機の名前としても使われています。いて座が位置する方向は銀河系の中心で、超大質量ブラックホールがあると言われています。今年の4月に話題となったおとめ座のブラックホールのようにその姿を見てみたいものです。

### 西 ペルセウス座流星群

今年のペルセウス座流星群のピークは8月13日の17時ごろよりと予想されていますが、8月15日が満月なので、月明かりのため流星観察には少し厳しい条件です。そのため、7月下旬から8月下旬の期間の月明かりの少ない時期に観察するのもいいかもしれません。放射点と呼ばれる流星が飛び出してくるよう見える点の付近には、目立つ星がないので、ペルセウス座よりカシオペア座のW字形を目印に見当をつけた方がよいと思われます。しかし、流星群の流星は全天にわたって飛ぶので、放射点の方向だけを注視する必要はなさそうです。

## 新望遠鏡がデビューします

### きらら号望遠鏡とともに

国際ソロプチミスト三重-北様よりご寄附いただき、5階コズミックギャラリーに展示していました口径25cmの反射式天体望遠鏡(ミュロン250 CRS)を9月28日(土)の観望会から使用します。きらら号の望遠鏡とともに2つの大口径望遠鏡で天体を見ていただくことができるようになります。9月28日(土)19時30分から博物館前市民公園で実施しますので、是非、お越しください。



## コズミックスクール 報告

### 天体望遠鏡を作って宇宙を観察しよう

7月21日(日)に行われたコズミックスクールは、口径5cmの天体望遠鏡のキットを組み立ててもらいました。少し難しい作業でしたが集中力を持って取り組んでくれました。自分の手で作った望遠鏡で惑星や月を見た時の感動は大きかったです。



### 立体月齢早見盤を作ろう

7月28日(日)に行われたコズミックスクールは、CDとCDケースを使って月齢早見盤を作り、月の満ち欠けについて学習しました。また、普段見られないプラネタリアムのバックヤードの見学もしてもらい、複雑な機械操作に驚きの声も聞かれました。



## 8月のガリレオ教室

### 〈流星のひみつ〉

流れ星の正体は何か、観察するにはどうすればよいのか等について、映像等を使いながら天文ボランティアが分かりやすく解説します。

#### <日時>

- 8月11日(日)
- ①11時から11時20分
- ②14時から14時20分



#### <場所>

コズミックラウンジ

※当日自由参加・無料








## ★★観望会★★

- 《博物館主催きらら号観望会》 場所：博物館前市民公園
- ①8月 7日(水) 19時30分から21時 「織姫星と彦星を見よう(旧暦の七夕)」
  - ②8月10日(土) 19時から20時30分 「月と木星・土星を見よう」
  - ③8月24日(土) 19時から20時30分 「木星と土星を見よう」

- 《博物館主催流星群観望会》 場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近
- 8月12日(月・休) 19時から21時 ペルセウス座流星群と夏の星空観望会

- ※天候不良時は中止です。
- ※当日自由参加・無料です
- ※流星群の観望会では天文ボランティア主催観望会も同時開催します。
- ※流星群の観望会ではきらら号は出動しません。

## 8月の月

- 1日  新月
- 8日  上弦
- 15日  満月
- 23日  下弦
- 30日  新月

## 編集後記

はっきりしないお天気の続いた梅雨が明け、本格的な夏の星空に会えるようになりました。当たり前のこととはいえ、季節が順調にめぐってくれていることに安心感を覚えます。プラネタリアムでは、企画展オリジナル番組「地球が心配～宇宙から地球をヘルスチェック!」を投映中です。いつまでも美しい星空が見られるよう、私たちの地球を大切にしたいですね。